

最新 家電事情

YouTube で世界を眺めよう！

酒井 寿紀

● YouTube で何が見られる？

最近，YouTube（ユーチューブ）という言葉が新聞などでよく見かける．これは動画を共用するウェブサイト（www.youtube.com/）である．2005 年 5 月にサービスを開始し，その後急成長して，今年 6 月には 1 日に平均 1 億本の動画が閲覧されるまでになったという．

YouTube には誰でも 10 分以内の動画を投稿することができる．そのため，自分が楽器を演奏したり，ダンスを踊ったりしている映像が多数登録されている．今までに一番閲覧回数が多いのは，「Evolution of Dance（ダンスの進化）」という，アメリカの中年男が T シャツにジーンズという格好で数分間 1 人で踊り続けるものである．その合計閲覧回数は 3,000 万回を超えている．

そのほか，自分の子供やペットのユーモラスなしぐさ，交通事故の瞬間，自作のアニメなど，さまざまな映像がある．くだらないものも多いが，厳しい現実を伝えるものもある．例えば，イラクで米軍の兵士が撮影したと思われるものは，市街地に行く戦車の窓から撮影していると，突然間近で爆弾が炸裂し，画面が一瞬真っ暗になり，怒号が飛びかう．窓がひびだらけになる．イラクの前線の実態がよく分かる．報道規制のため，一般のメディアでは見られないものだ．

自作の映像とは違い，テレビなどの映像の一部を投稿したものも多い．ケネディ大統領の暗殺の瞬間から，今年の秋場所の朝青龍・千代大海戦まで，多数登録

されている．

放送中のハプニングも見られる．ベテランのアナウンサーが言い間違えて，放送禁止用語(?)を口にしてしまったり，生放送中に小道具が倒れてきてアナウンサーを直撃したりしている．ブッシュ大統領のトチリ，迷言，珍言を集めた映像も多い．ブッシュほどエンタテインメントに貢献した大統領もいないのではなかろうか．

● YouTube の問題は？

テレビなどの映像を投稿したものには著作権侵害の問題がある．この 10 月も，日本のテレビ会社からのクレームで，YouTube は 3 万本のファイルを削除した．しかし，これはモグラたたきのようなもので，たたいてもたたいてもモグラは顔を出す．そのため，アメリカのテレビ会社やレコード会社には，あきらめて YouTube と契約し，YouTube への掲載を認める代わりに，広告収入の一部を分けってもらうことにしたところもある．すでに CBS などは積極的に自社のテレビ番組を YouTube に掲載している．この 10 月に YouTube は 16.5 億ドル（約 2,000 億円）で Google に買収された．今後著作権問題がどう展開するかが注目される．

YouTube は今や韓国や台湾からも投稿されている．ブロードバンドの普及に伴って利用者は全世界に広がるだろう．インターネットで海外の文書を読むには語学力が必要だが，映像は万国共通だ．YouTube で世界の裏側を眺めよう！

（酒井 IT ビジネス研究所）